



決算説明補足資料

2020年11月期 第1四半期



株式会社ラクト・ジャパン



1	連結業績概要	P.3
----------	---------------	------------

2	事業別売上高推移	P.4
----------	-----------------	------------

3	事業別取扱い数量推移	P.5
----------	-------------------	------------

4	連結貸借対照表	P.6
----------	----------------	------------

	参考資料（為替リスクについて）	P.7
--	------------------------	------------

1. 連結業績概要

(単位：百万円)

	2019.11期 1Q	2020.11期 1Q			2020.11期 通期予想
		実績	増減額	増減率 (%)	
売上高	27,886	28,221	+ 335	+1.2	130,000
経常利益	535	753	+217	+40.6	3,000
売上高経常利益率 (%)	1.9	2.7	-	-	2.3
(経常利益に含まれる為替影響額※)	(△98)	(29)	-	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	375	545	+169	+45.3	2,100
売上高当期純利益率 (%)	1.3	1.9	-	-	1.6
1株当たり四半期 純利益 (円)	38.36	55.53	+17.17		213.62
為替レート (円/USD)	110.62	109.53	△1.09		-
為替レート (円/EURO)	125.89	120.87	△5.02		-

(注) 財務数値の表示は端数切捨て。

※1 経常利益に含まれる為替影響額：当社は為替予約の会計処理について原則的な方法を採用しており、各利益段階において為替変動による影響を受けることがあります。

仕入計上がされているものの、売上計上時期が翌四半期に行われた場合には、営業外収益に為替差損益のみが先行して計上され経常利益に反映されることがあります。

※2 当社は、2019年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 事業別売上高推移

(単位：百万円)

	2019.11期				2020.11期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	通期予想
乳原料・チーズ	21,109	21,566	22,119	20,411	20,061	91,750
前年同四半期比	△3.9%	△1.3%	1.2%	4.0%	△5.0%	7.7%
食肉加工品	2,941	3,162	3,187	2,988	2,900	16,000
前年同四半期比	△11.8%	△3.6%	6.6%	0.7%	△1.4%	30.3%
アジア（乳原料販売）	2,992	4,310	3,709	5,013	4,411	18,950
前年同四半期比	△12.9%	11.5%	18.6%	20.9%	47.4%	18.2%
アジア（チーズ製造販売）	658	626	679	687	680	2,800
前年同四半期比	31.9%	25.7%	22.5%	21.7%	3.3%	5.6%
その他	183	160	128	157	167	-
前年同四半期比	△15.1%	△26.9%	△48.2%	△19.2%	△8.8%	-
売上高合計	27,886	29,826	29,823	29,258	28,221	130,000
前年同四半期比	△5.3%	0.4%	3.6%	6.4%	1.2%	11.3%

(数値の表示は端数切捨て)

3. 事業別取扱い数量推移

(単位：MT)

	2019.11期				2020.11期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	通期予想
乳原料・チーズ	49,784	50,354	52,814	51,152	49,413	213,800
前年同四半期比	△7.0%	△0.6%	5.3%	15.9%	△0.7%	4.8%
食肉加工品	4,985	5,525	5,806	5,214	5,220	29,900
前年同四半期比	△13.9%	△0.9%	13.0%	2.4%	4.7%	38.9%
アジア (乳原料販売)	11,298	16,593	13,853	18,179	14,676	69,500
前年同四半期比	△5.7%	14.8%	15.7%	26.1%	29.9%	16.0%
アジア (チーズ製造販売)	874	930	928	1,004	1,014	3,900
前年同四半期比	35.8%	43.9%	40.6%	39.9%	16.0%	4.3%

(数値の表示は端数切捨て)

4. 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2019.11期末	2020.2月末	増減額
流動資産	45,774	50,836	5,061
現金及び預金	4,474	5,161	686
受取手形及び売掛金	17,852	21,698	3,845
棚卸資産	22,946	23,504	557
流動資産その他	501	472	△28
固定資産	2,360	2,488	128
有形固定資産	568	650	82
無形固定資産	29	27	△2
投資その他の資産	1,761	1,810	48
資産合計	48,134	53,325	5,190
買掛金	12,649	12,197	△451
有利子負債	17,641	23,482	5,840
負債その他	1,879	1,501	△378
負債合計	32,170	37,182	5,011
純資産	15,964	16,143	179
負債・純資産合計	48,134	53,325	5,190

(財務数値の表示は端数切捨て、内訳は主要項目のみ記載)

主な増減要因

受取手形及び売掛金の増加

2019年11月末は債権流動化を実施

棚卸資産の増加

顧客向け商品の増加

有利子負債の増加

短期借入金が増加

参考資料
(為替リスクについて)



当社は基本的に為替リスクを負わないビジネスモデル。

海外仕入先との外貨建て仕入契約締結と同時に、国内顧客と円貨の販売契約を締結。
その際、仕入外貨額に対する為替予約をすることで為替リスクをヘッジしている。

但し、当社は会計処理基準における原則法を採用しているため、会計上の表示が特徴的。

売上総利益と営業外損益（為替差損益）の表示に常に影響。

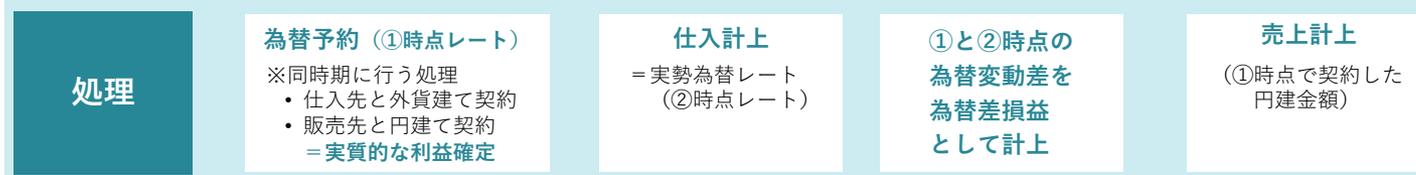
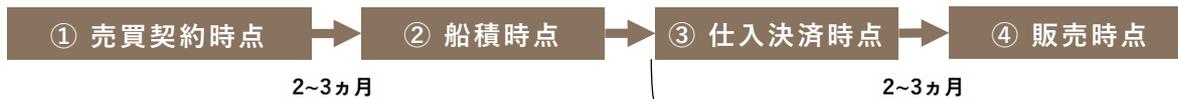
決算期末をまたぐ取引（翌期以降に販売）は期間損益の表示に影響が発生。

□ 表示の特徴

取引の段階に応じて、計上に使用する為替レートが異なるため、取引の途中段階において、為替差損益が生じる。
最終的には当初の為替レートにより計上された売上・売上原価になるので実質的な利益に影響はないが、
売上計上前の取引の途中段階においては

- ① 売上総利益と営業外損益の表示に影響するほか、
- ② 計上が期間をまたがることにより、期間損益に影響する。

為替レートが変動しても、実質的な利益には影響しない

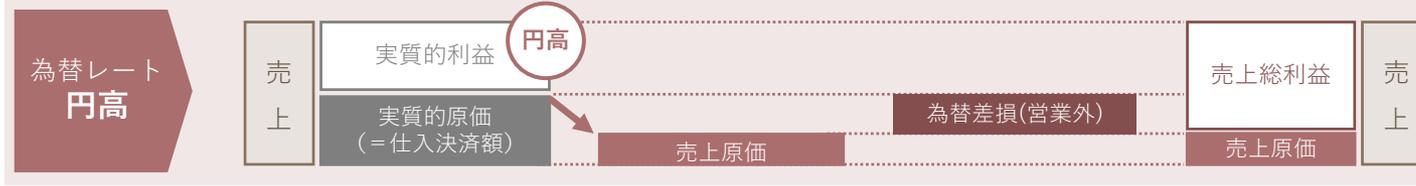


取引終了時(④まで終了)
 ④の販売まで終了した時点では、①～④時点の処理が通算され、①時点の実質的利益及び実質的原価と同額が会計上も計上される。

取引が途中で決算をむかえた場合
 ③時点と④時点の間に期末をむかえた場合、先行して、為替差損益(営業外)が計上される。



③時点では為替差益が営業外利益として先行して計上。
 ①時点の為替予約の金額より、②時点の仕入価格が高くなるため



③時点では為替差損が営業外損失として先行して計上。
 ①時点の為替予約の金額より、②時点の仕入価格が安くなるため

ご注意事項

本資料には、当社の戦略や見通しなど将来の業績に関する記述が含まれております。これらは現時点における当社の判断に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。経営環境の変化など、さまざまな要因により変更されることがあります。あらかじめご了承ください。